

株式会社プラメドによる自主企画調査
IBD患者さんのアンケート結果

PLAMED
PLATFORM FOR MEDICINE

2023年2月

調査設計

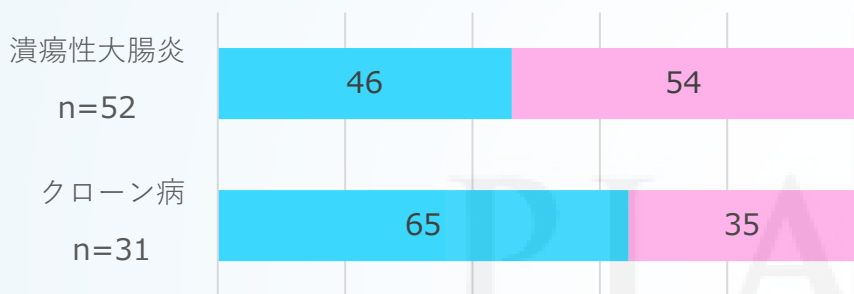
調査目的	IBD患者さんの、下記の状況把握 <ul style="list-style-type: none">・ 発症から診断までの状況把握・ 困っている症状・ 現在の治療状況や治療満足度・ ご自身の病気に関する情報収集・ 自分なりの症状改善の工夫や完治した際にやりたいこと など
調査手法	インターネットによるアンケート調査
リクルート・回収方法	Twitterにてアンケート協力の募集を行い、そこに記載された事前アンケートにご回答いただいた方に、弊社から本アンケートを送付
調査地域	全国
調査ボリューム	10分程度
調査対象・サンプル数	現在18歳以上の方で、最近1年間に医療機関でIBDの治療をされた患者さん 有効サンプル数：83s（潰瘍性大腸炎患者さん：52s、クローン病患者さん：31s）
調査期間	Twitter発信&事前アンケート回答期間：2022年8月31日（水）～9月7日（水） 本アンケート回答期間：2022年9月12日（月）～9月20日（火）

対象者属性（性・年代・地域）

性別

■ 男性 ■ 女性

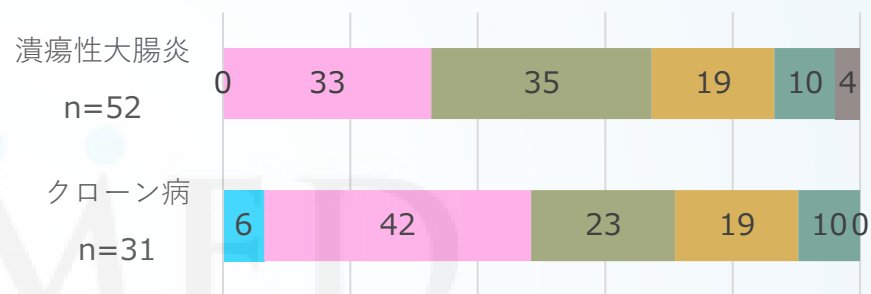
0% 20% 40% 60% 80% 100%



年代

■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60歳以上

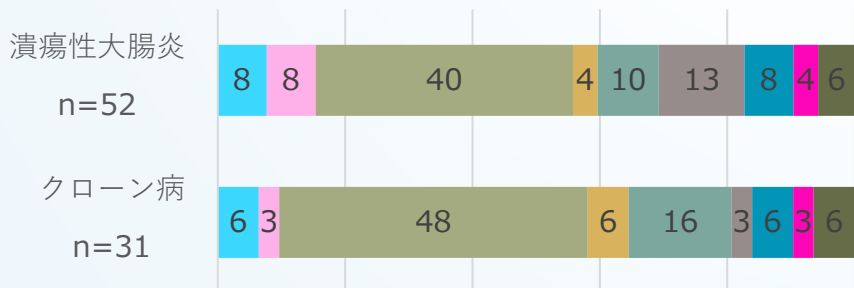
0% 20% 40% 60% 80% 100%



地域

■ 北海道／東北 ■ 北関東 ■ 首都圏
 ■ 信越北陸 ■ 東海 ■ 関西
 ■ 中国 ■ 四国 ■ 九州

0% 20% 40% 60% 80% 100%

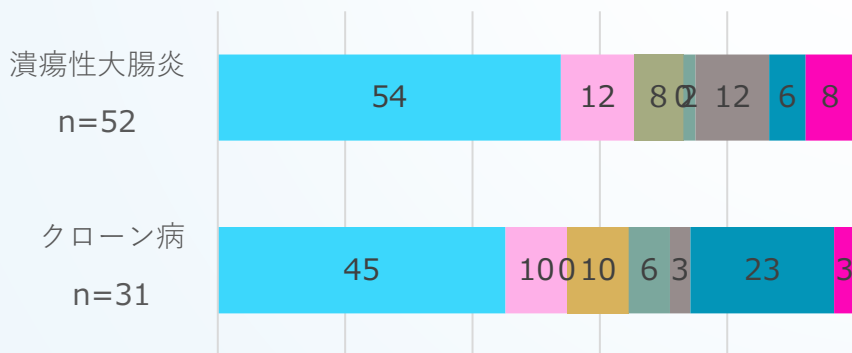


対象者属性（働き方・医療費の公費助成）

働き方

- フルタイムで勤務
- パートタイム・アルバイトで勤務
- 休職中
- 自営業・個人事業者
- 学生
- 専業主婦・主夫
- 無職・定年退職
- その他

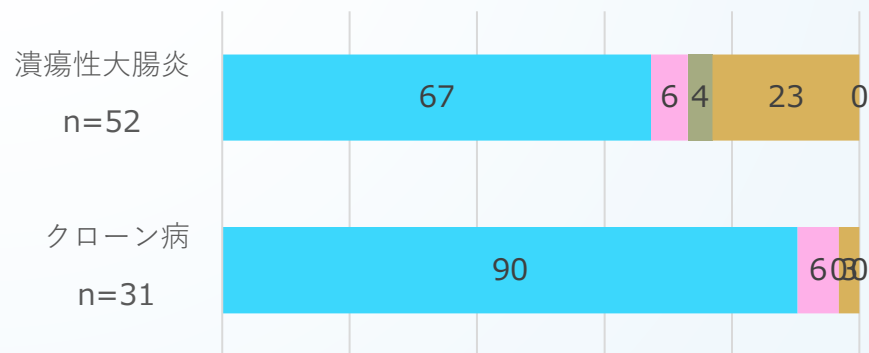
0% 20% 40% 60% 80% 100%



医療費の公費助成

- 持っている
- 現在、申請中である
- 今後、申請する予定である
- 持っていないし、申請するつもりもない
- 答えたくない

0% 20% 40% 60% 80% 100%



PLAMED
PLATFORM FOR MEDICINE

サマリー

PLAMED
PLATFORM FOR MEDICINE

サマリー 1 ～症状認識から確定診断について～

- 本人が何かしらの症状を初めて認識し、その後医療機関を受診、潰瘍性大腸炎もしくはクローン病と**確定診断されるまでの期間**は、症状認識から1年未満と回答した患者さんが半数を占めた。潰瘍性大腸炎患者さんの方が症状認識から確定診断までの期間が短い方が多く、クローン病患者さんでは、4年以上経過している方も約30%確認された。
- **医療機関に初めて受診するきっかけ**となった症状は、両疾患ともに「下痢」「腹痛」が多く挙がり、潰瘍性大腸炎患者さんでは、上記に加えて「血便」、クローン病患者さんでは「体重減少」「発熱」「食欲不振」「痔ろう」などの症状も挙がる。クローン病患者さんの方が受診きっかけとなる症状が多岐にわたる様子が見られた。
- **診断されるまでの医療機関の経緯**として、潰瘍性大腸炎患者さんでは「初めて受診した医療機関で診断された」が最も多かったのに対し、クローン病患者さんでは、「他院を紹介されて、そこで診断」「別の医療機関を受診し、診断」などと、初めて受診した医療機関で確定診断されるケースは、クローン病患者さんの方が少ない様子が見られた。

サマリー2 ～現在の通院・治療状況について～

- **現在も苦勞している症状**としては、両疾患ともに「下痢」「腹痛」「倦怠感」が多く挙げられた。加えて、潰瘍性大腸炎患者さんでは「血便」、クローン病患者さんでは「貧血やふらつき」「痔ろう」も多く挙げられ、受診きっかけとなった症状とほぼ同様に、現在でも苦勞されている様子。
- **現在の治療薬**は、両疾患ともに「5-ASA製剤」が約80%を占めていた。クローン病患者さんでは、「5-ASA製剤」に加え、「生物学的製剤」（約60%）や「チオプリン製剤」（約40%）も多く挙げられ、また自由入力で「エレンタール（栄養剤）」も挙げられた。
- **現在通院中の医療機関**は、潰瘍性大腸炎患者さんでは病院とクリニックが約半々だったのに対し、クローン病患者さんでは約90%が「病院」と、現在通院する医療機関に違いが見られた。**通院頻度**は、両疾患ともに、「1～2か月に1回程度」が約70%。

サマリー3 ～工夫や紹介したい情報媒体などについて～

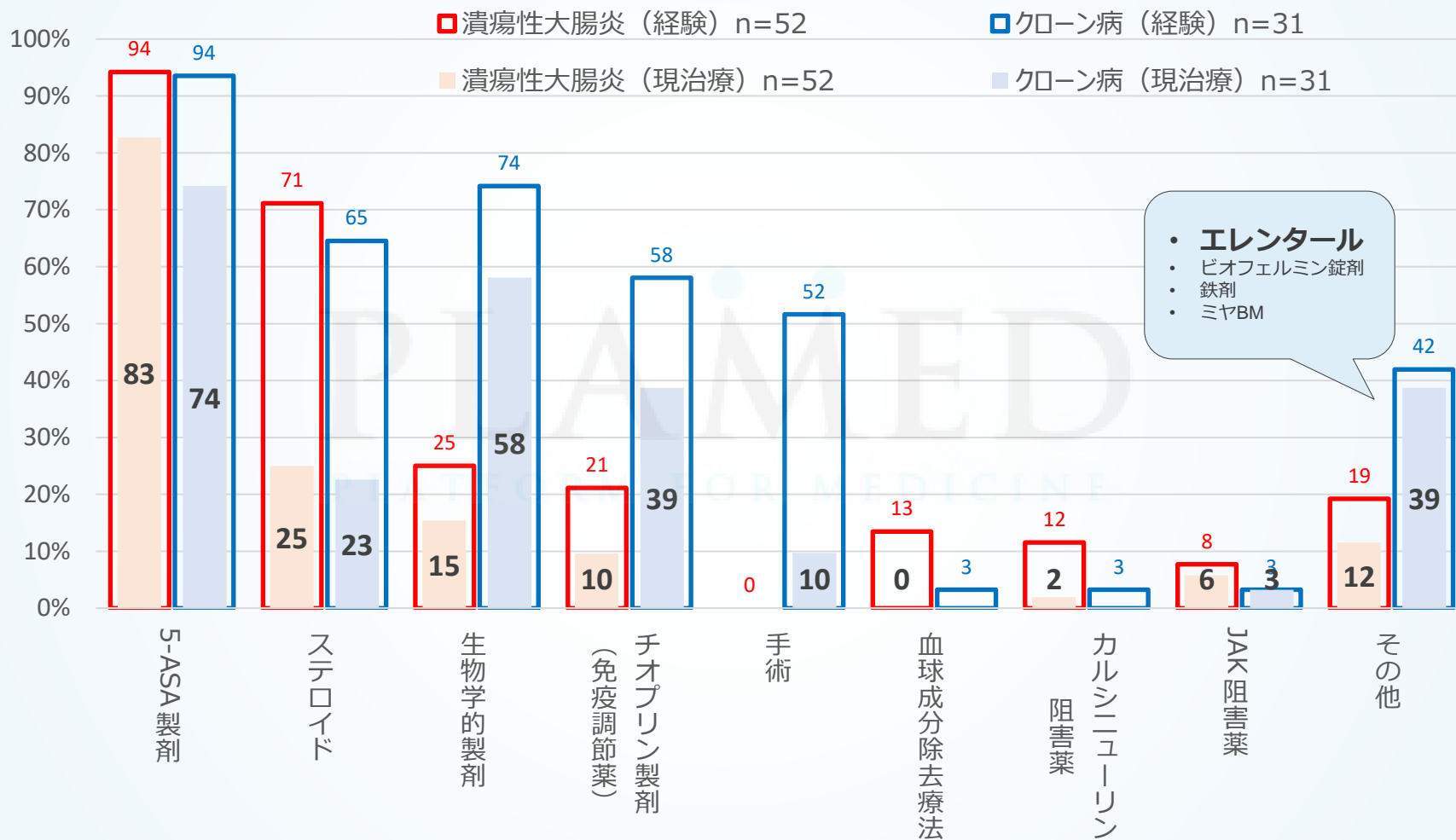
- ▶ **症状軽減のために工夫**していることを自由入力で確認したところ、両疾患ともに「食事」「ストレス軽減」に関するコメントが多く挙がり、特にクローン病患者さんでは約80%の方が「食事を気をつける」と回答した。潰瘍性大腸炎患者さんではクローン病患者さんに比べて、「身体/お腹を冷やさない」ことも工夫の一つとして多く挙げた。
 - ・ 「バランスの良い食事を心掛けること。身体を冷やさないようにする。また適度に運動やヨガをしたり、睡眠をしっかりとる。薬を忘れずに服用することで悪化を防ぐことができている」(30代女性、潰瘍性大腸炎)
 - ・ 「体調が悪いと感じたらエレンタールの回数を増やし、通常の食事を減らす。食事にメリハリをつける。食べたい時には好きな食べ物を食べ、我慢するべき時は我慢する。散歩し、リフレッシュする」(20代男性、クローン病)
- ▶ **紹介したいサイトや本**を自由入力で確認したところ、「IBDプラス」と「Twitter」がそれぞれ8人、「CC JAPAN」が5人。特徴的なものとして、「潰瘍性大腸炎・クローン病の今すぐ使える安心レシピ」「腸よ鼻よ(漫画)」が複数人から挙げた。(Twitterが多く挙げた要因として、本アンケート募集方法の影響があることは想像できる)
- ▶ **完治したら何をしたいか**を自由入力で確認したところ、「食」や「旅行・遠出」が多く挙がる。また「働きたい」「おしゃれ」など、“普通”の何をしたい様子もうかがえた。
 - ・ 「トイレの場所を気にせず、外出を楽しみたい。服装は汚れたら困るので黒っぽい色が多い。おしゃれしたい。」(40代女性、潰瘍性大腸炎)
 - ・ 「普通に働いて、残業して、稼いで、遊んで、美味しいものを食べて、みんながしている普通を、何の心配もなく味わいたい。」(40代女性、クローン病)

PLAMED
PLATFORM FOR MEDICINE

詳細編

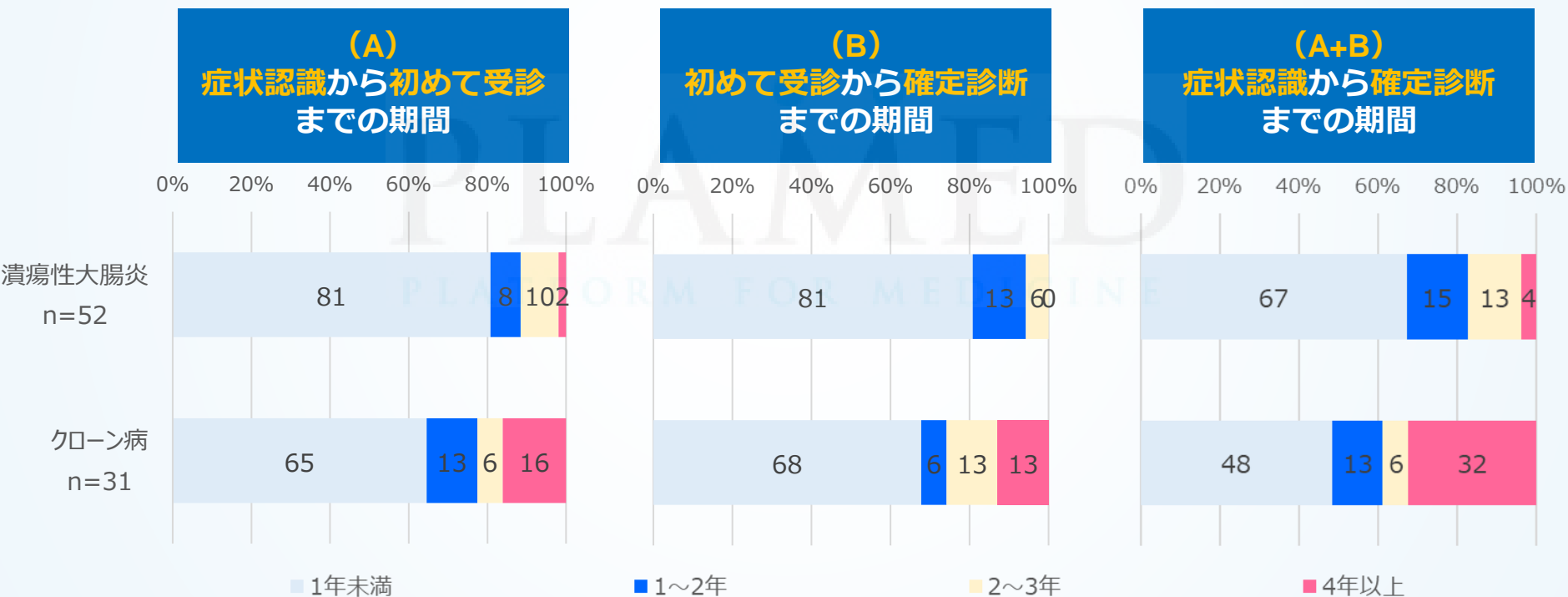
PLAMED
PLATFORM FOR MEDICINE

治療薬（経験と現在の治療）



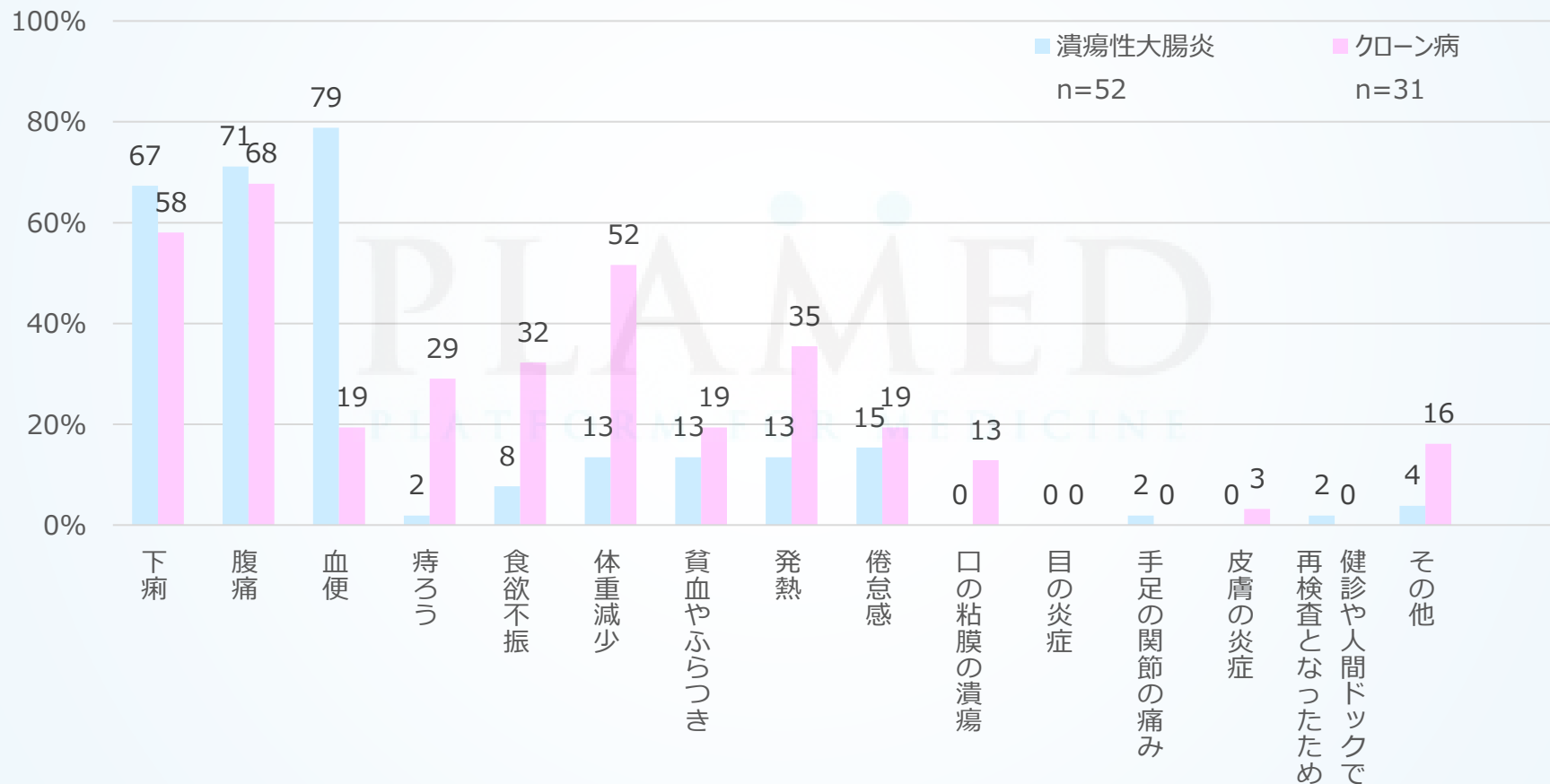
Q: 医師から処方された薬および治療法（複数選択可）

発症年齢から確定診断まで



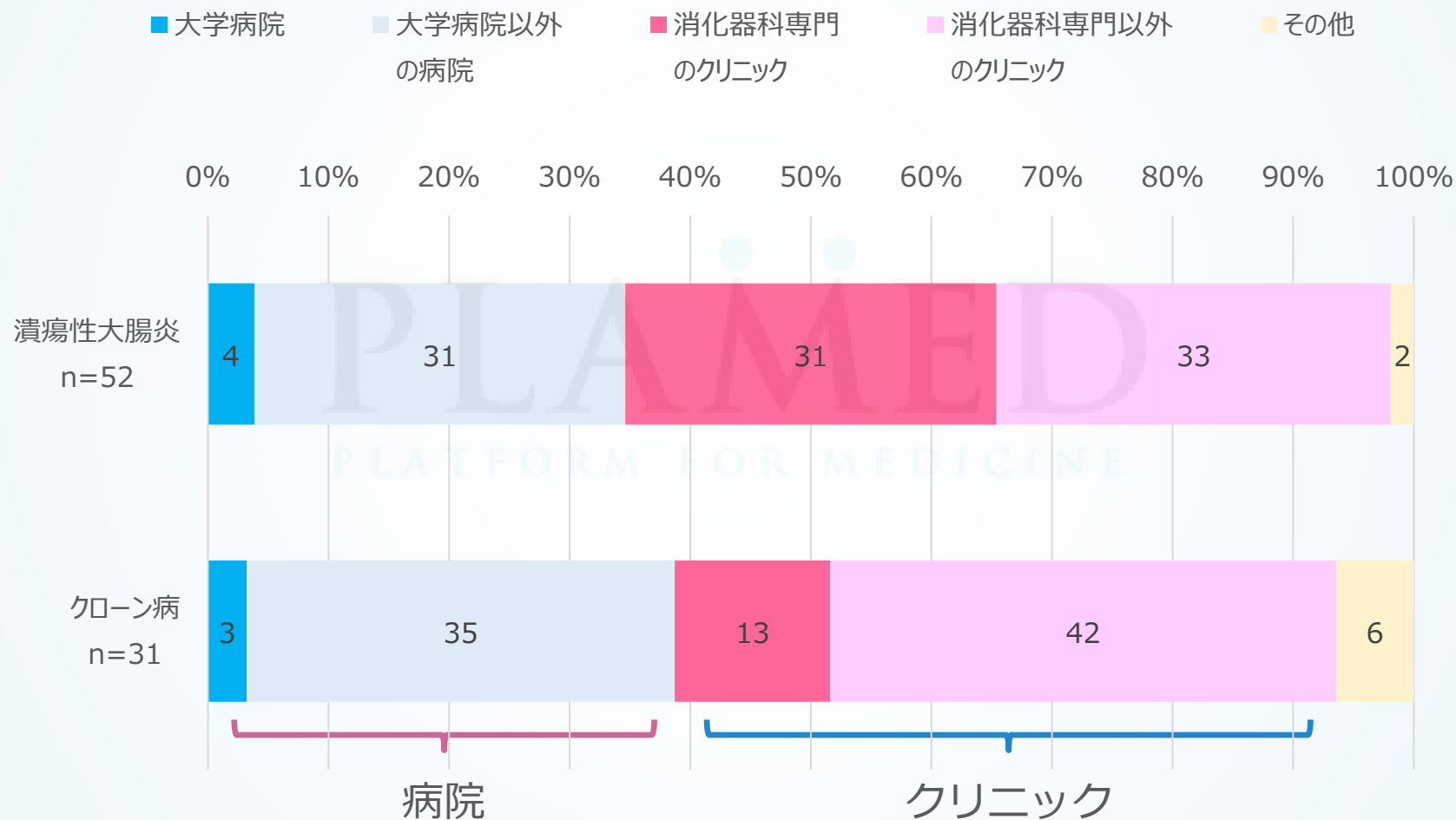
Q: 症状認知、受診、確定診断までの期間 (数値入力)

初めて医療機関に受診したきっかけ



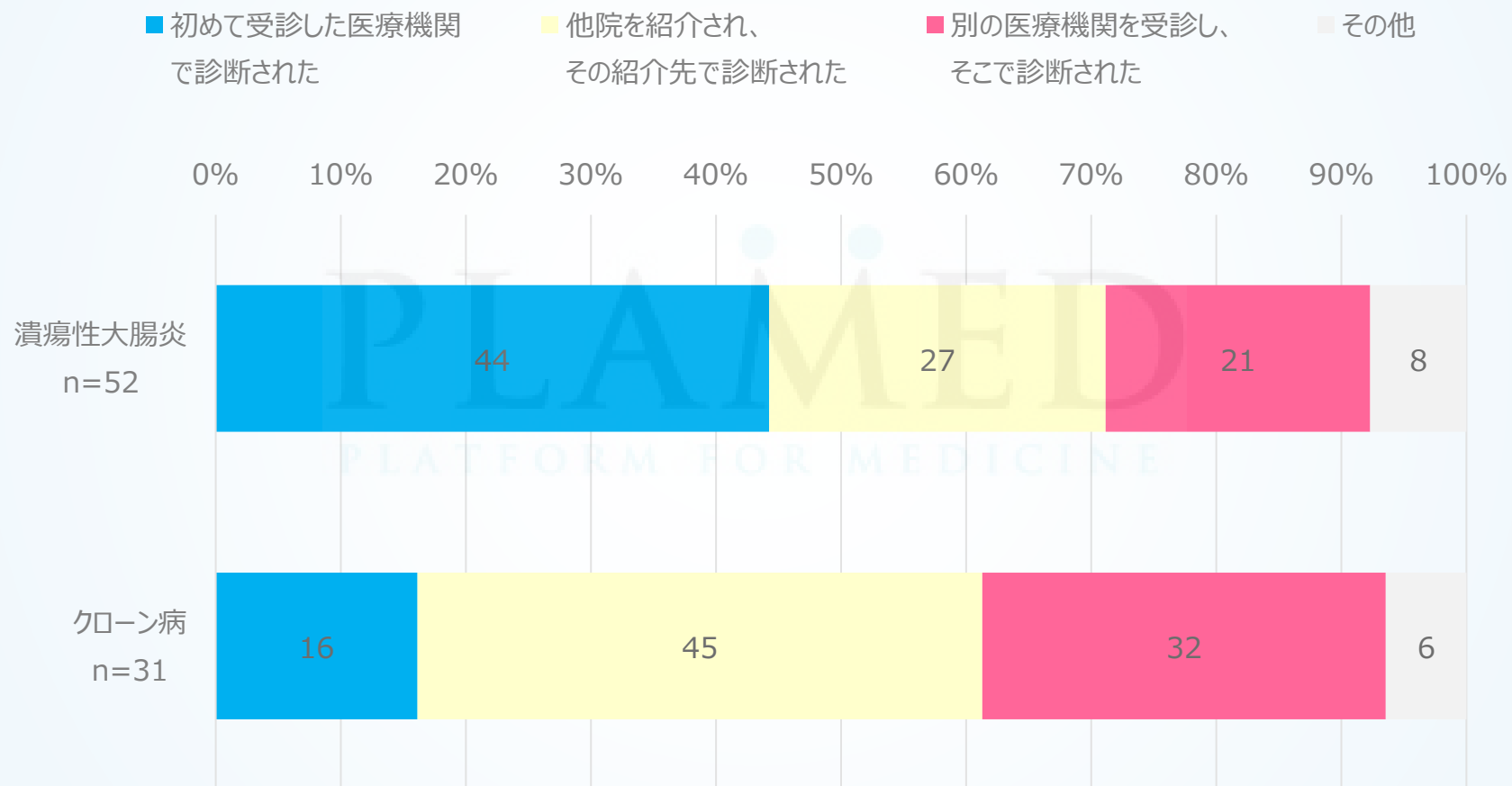
Q:初めて受診したきっかけは（複数回答可）

初めて受診した医療機関



Q:初めて受診した医療機関 (単一回答)

診断されるまでの経緯

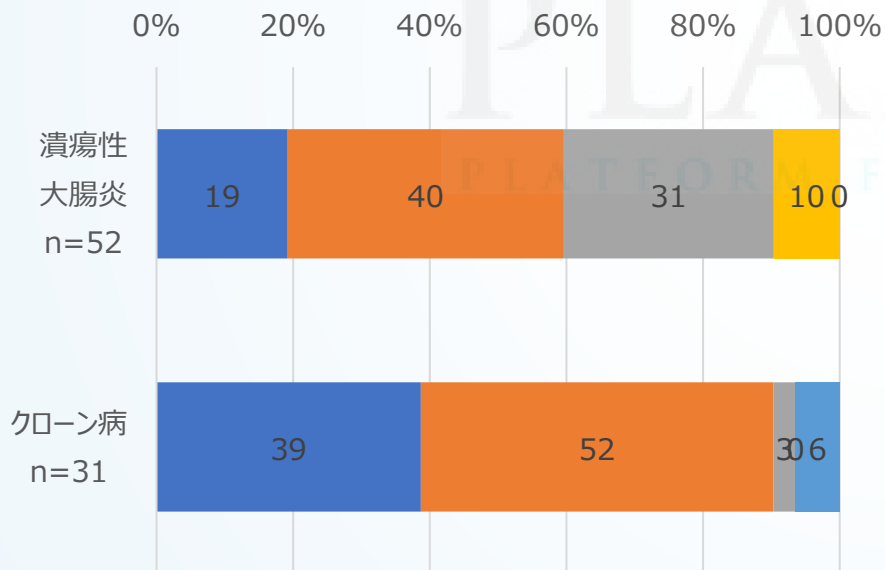


Q:確定診断までの受診の経緯 (単一回答)

現在、通院されている医療機関と通院頻度

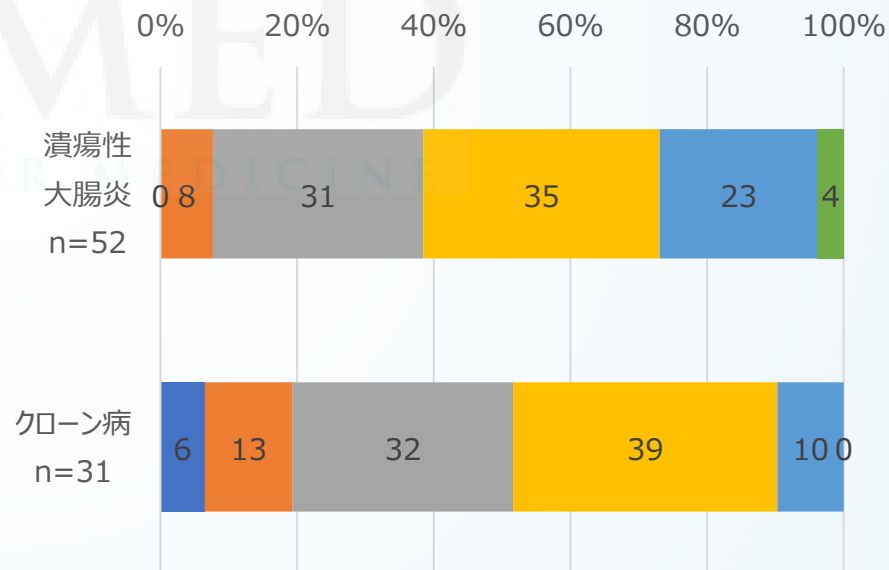
現在通院中の医療機関

■ 大学病院
■ 大学病院以外の病院
■ 消化器科専門クリニック
■ その他クリニック
■ その他



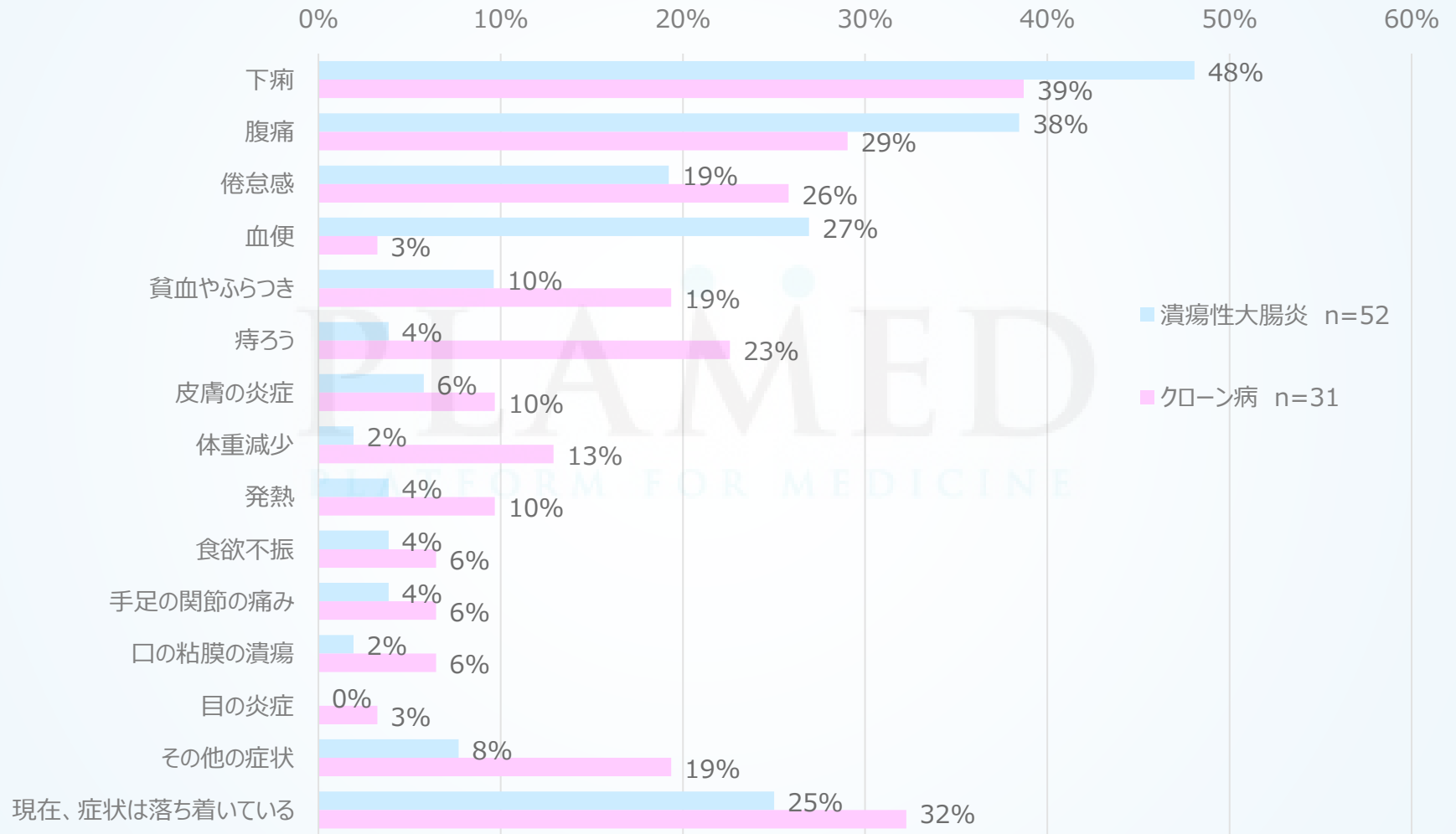
通院頻度

■ 週に1回以上
■ 月2回程度
■ 月1回程度
■ 2ヶ月に1回程度
■ 3ヶ月に1回程度
■ それよりも少ない



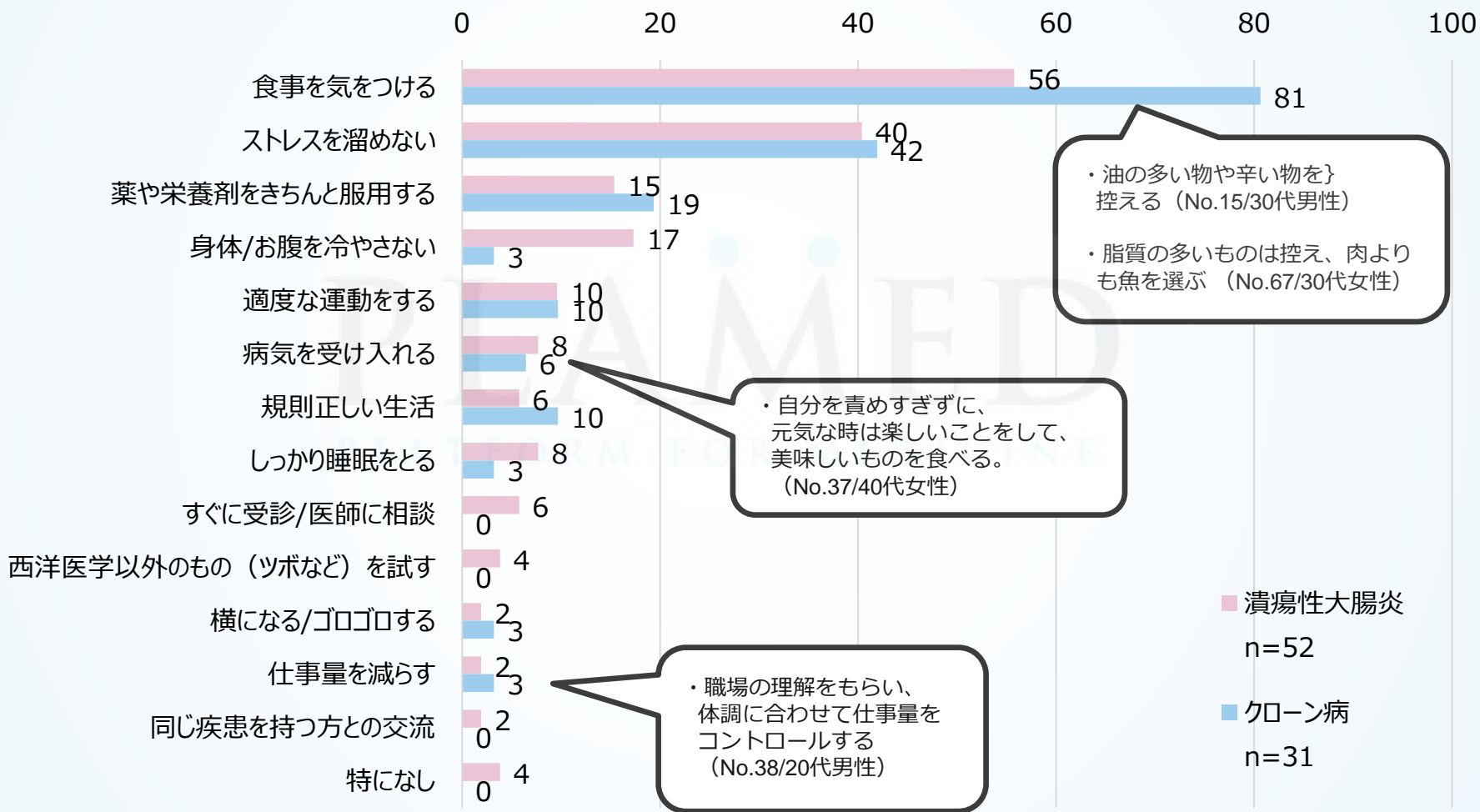
Q:現在、受診している医療機関と通院頻度（それぞれ単一回答）

現在苦勞されている症状とは



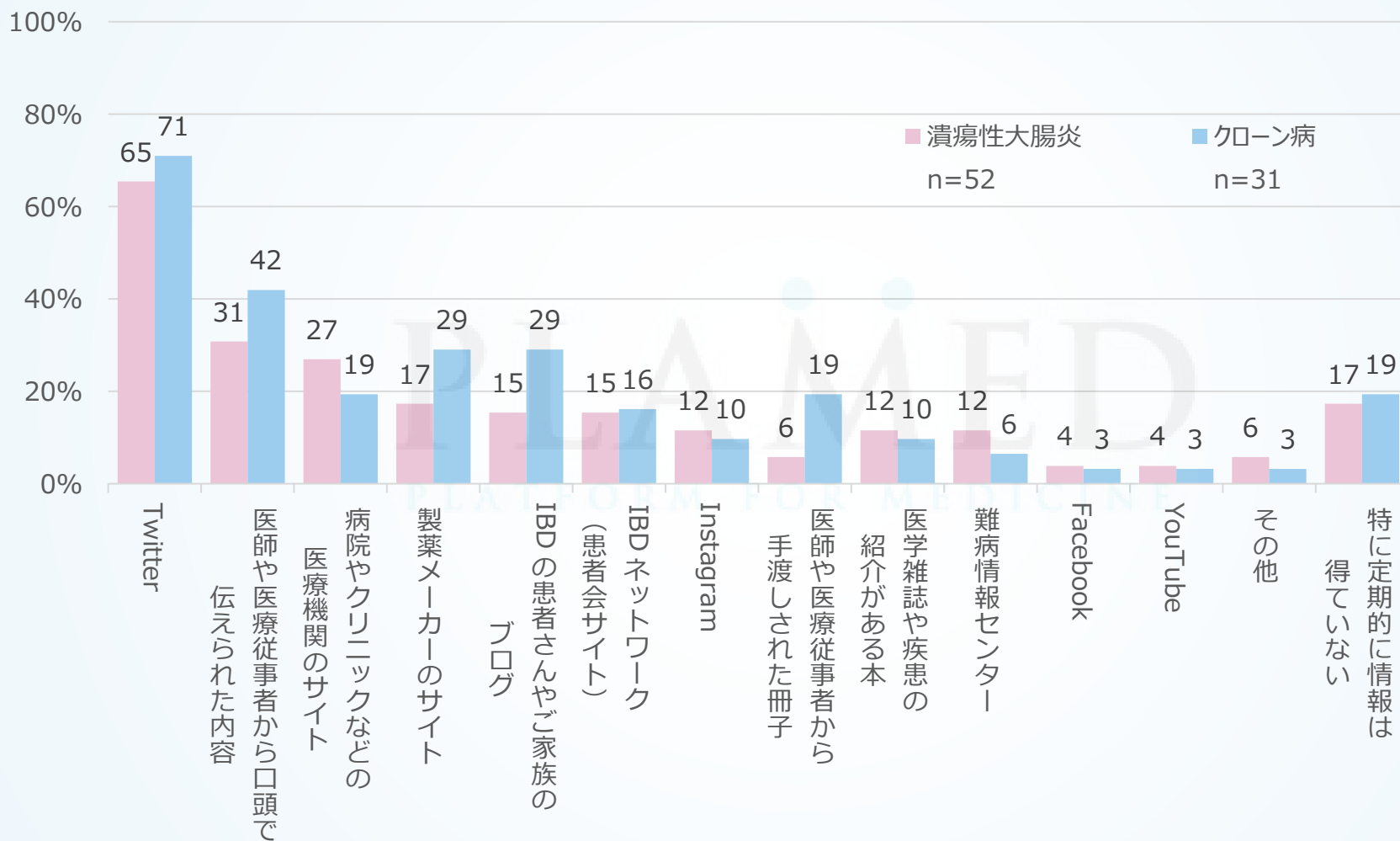
Q:現在、苦勞している症状とは（複数回答可）

症状の軽減のために、あなた自身の工夫



Q:症状軽減のために、工夫していること (自由記入)

定期的に情報を取得している媒体

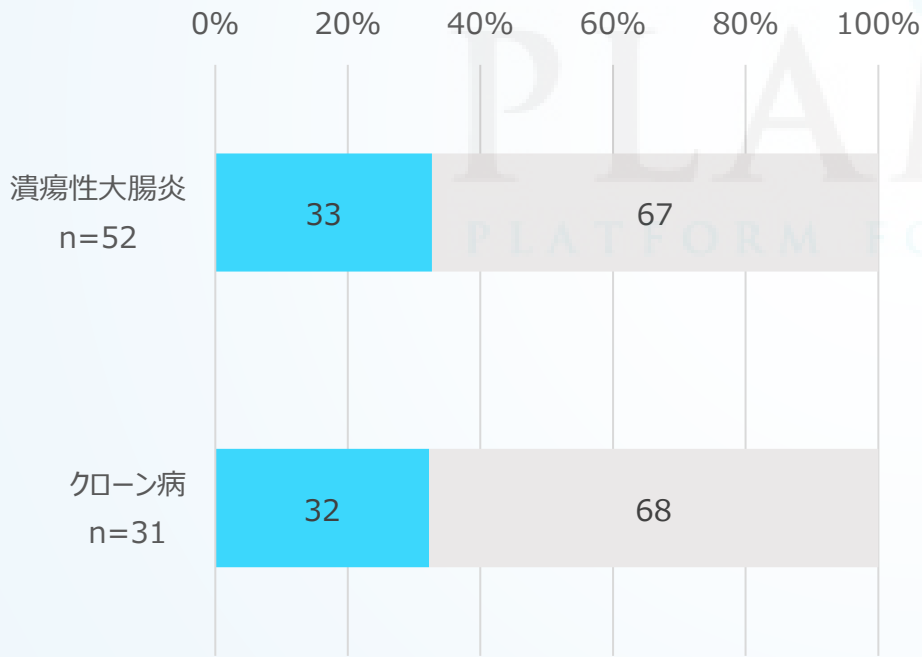


Q:定期的に情報を得ている情報媒体 (複数回答可)

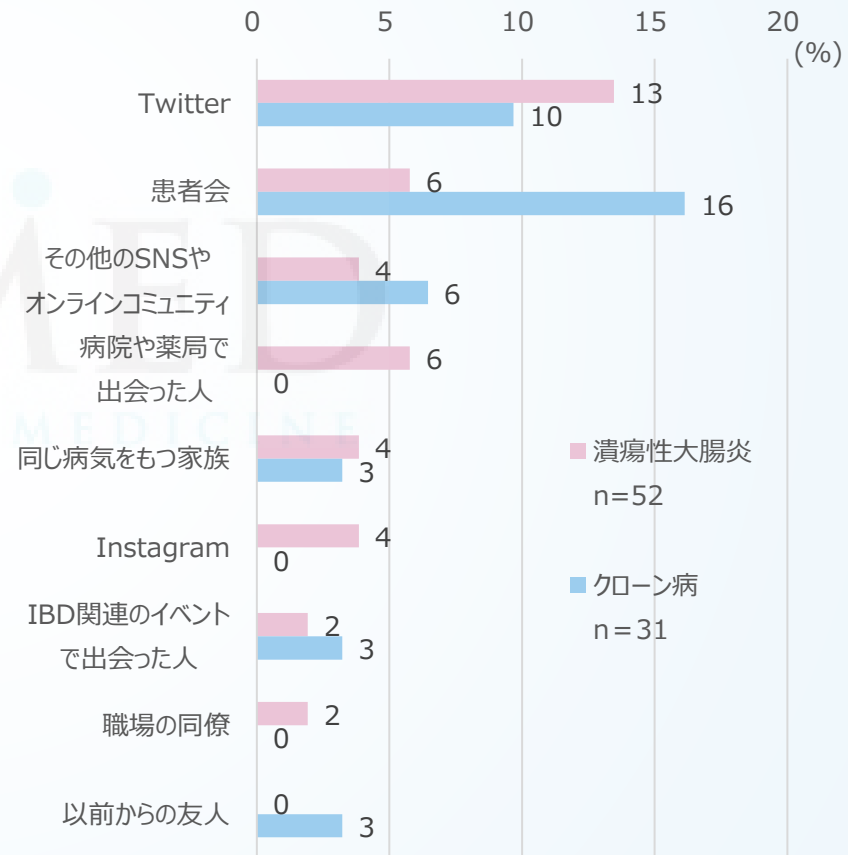
同じ病気を持つ患者さんとの関わりの有無

同じ病気を持つ患者さんとの関わり

- はい（定期的にコミュニケーションをとる）
- いいえ（定期的にコミュニケーションをとることはない）



どこでお知り合いになりましたか



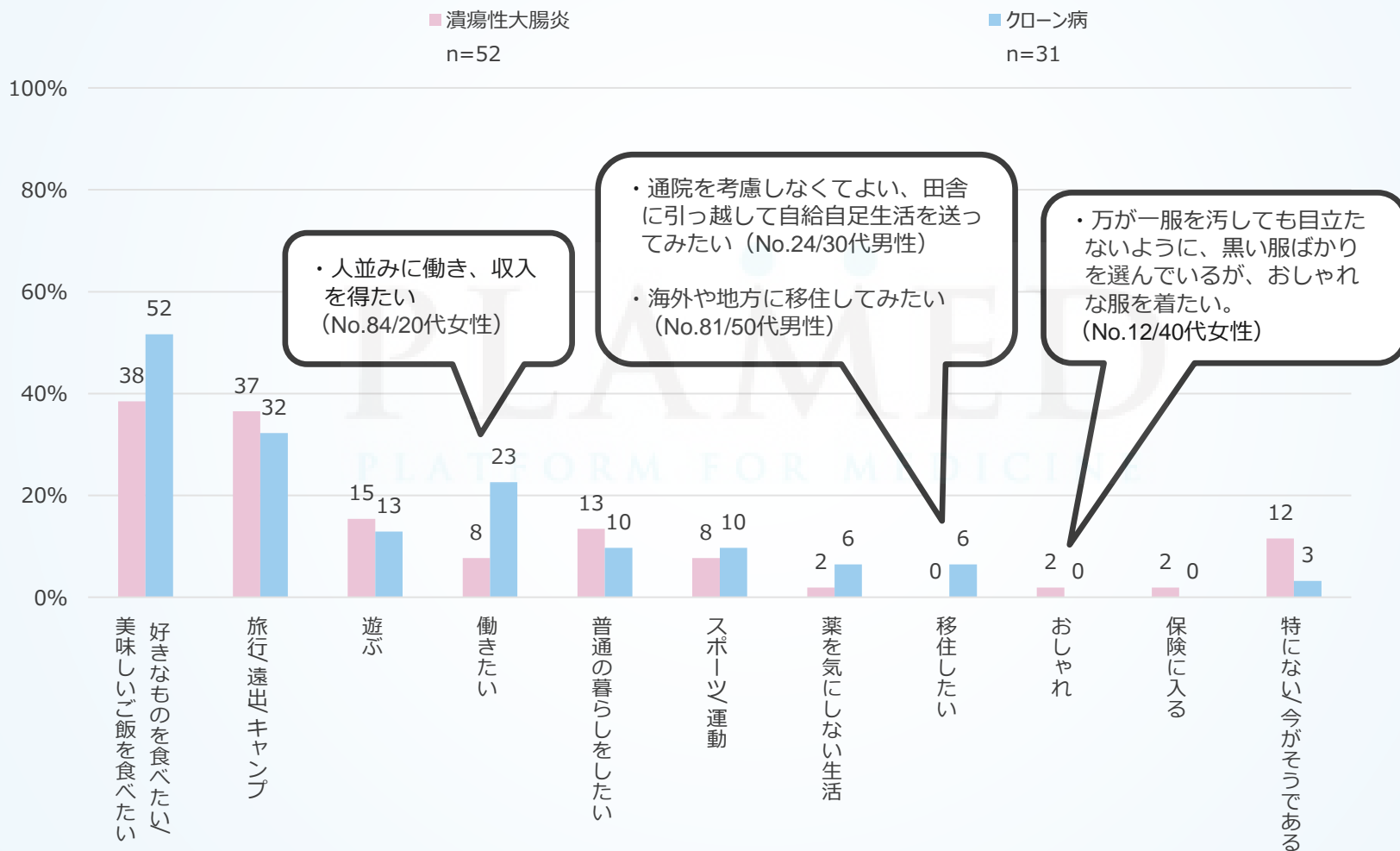
Q:あなたと同じご病気をもつ患者さんと、定期的にコミュニケーションをとることはありますか。またどこでお知り合いになったか。(単一回答および自由記入)

あなたが、紹介したいインターネットサイトや本

IBDプラス	8人
Twitter	8人
CC JAPAN	5人
Gコミュニティ	3人
PMDA/厚労省/CDCのHP	3人
潰瘍性大腸炎・クローン病の今すぐ使える安心レシピ	3人
腸よ鼻よ(漫画)	2人
難病情報センター	2人
IBD LIFE	1人
IBD ステーション	1人
IBD ネットワーク	1人
LINE オープンチャット	1人
Facebook	1人
Instagram	1人
ウルトラ図解潰瘍性大腸炎	1人
患者会	1人
主治医	1人
マッスルデリ	1人
東京医科歯科大学のIBDセンターのページ	1人

Q:治療を開始する人に対して、紹介したい情報媒体とは（自由記入）

完治したら、あなたは何をしたいと思いますか



Q:治療が完治したら、あなたは何をしたいと思いますか (自由記入)



本レポートの転載・引用、その他お問い合わせに関する連絡先

株式会社プラメド 広報担当

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ13階

TEL : 03-5294-9060

Email : pr-pmd@plamed.com

※本レポートの無断転載・引用を固く禁止いたします。